

令和6年度



美里町立東児玉小学校

美里町教育の基本理念
『信頼と感謝』



児童の実態

- 安定した地域のため、穏やかで素直な児童が多い。
- 少子化が進み、児童数の減少が見られる。
- 学力面では、思考力・判断力・表現力に課題があり、特に自分の考えを伝える力に課題がある。

学校教育目標

かしこく なかよく たくましく

夢いっぱい、笑顔いっぱい、「ありがとう」が響き合う学校

学校研究課題

<研究主題>
「できた！わかった！」が実感できる算数授業
～個別最適な学びと協働的な学びの充実を生かして～

町の最重要課題 「学力向上」



生きる力の育成

令和6年度重点

- 1 学力向上 「しっかり教え、じっくり考えさせ、はっきり表現」
①学習規律の徹底 ②自分の考えを表現する活動の重視 ③書く活動の重視（モデル提示）
- 2 人権尊重 「丁寧なあいさつ「ありがとう」の習慣化・思いやりのある言動」
①道徳の授業の充実 ②言葉遣いや態度の指導の徹底 ③人権感覚プログラムの実施・掲示物
- 3 体力向上 「自己・集団での達成感「できた」、効力感「できそうだ」の向上」



平成23年度優れた『地域による学校支援活動』推進にかかる文部科学大臣

5年総合「ライスでGO」米作り

目指す教師像

ポジティブに、笑顔を支え、協働して取り組む教師

- 自己重要感を持ち、何事にもポジティブに協働できる教師
- 常に学び続け、児童に「できた」「わかった」と笑顔を与える教師
- 誰にでも笑顔で丁寧に接し、対応することができる教師
- 一人一人の児童に自己存在感・効力感を実感させられる教師

目指す児童像

夢に向かって協力し合い、たくさんの笑顔と感謝がある子

- 目標に向かって、笑顔で学び合い、粘り強がんばる子(かしこく)
- 仲間と笑顔で協力し合い、「ありがとう」を大切にできる子(なかよく)
- 心と体の健康を整え、体力を進んで高められる子(たくましく)

目指す学校像

夢いっぱい、笑顔いっぱい、「ありがとう」が響き合う学校

- (児童)夢に向かって協力し合い、たくさんの笑顔と感謝がある学校
- (教師)常にポジティブに笑顔を支え協働して取り組む学校
- (保護者・地域)信頼され協働し、たくさんの笑顔と感謝がある学校

家庭学習時間（最小）

低 20分 中 30分 高 40分

ポジティブ

笑顔

具体的な活動

協働

感謝



読み聞かせ



人権教育

- 丁寧なあいさつ・ありがとう(感謝)を習慣化する
- ・教師からあいさつ、ありがとうを言う
- 思いやりのある言動を励行する
- ・ありがとうBOXの有効活用
- 人権感覚プログラムの実施

学級経営の充実と確かな学力の定着

- 居場所のある学級経営
- しっかり教え、じっくり考えさせ、はっきり表現する授業の実践
- 学習規律の徹底する
- 自分の考えを一文にして表現する
- 良いモデルを真似て書く

健やかな体づくり

- 体力課題解決に取り組む
- ・授業の導入・わくわくタイム等
- 集団規律の徹底
- ・わくわくタイムで全校指導
- 早寝・早起き・朝ごはん運動
- ・学期始め1週間 担任の声掛け
- 手洗い・うがいの声掛けの徹底

豊かな心を育む道徳教育

- 心に響く道徳の授業の実践
- ・振り返りの充実
- ・外部指導者の招聘
- 体験活動の推進
- ・米作り・福祉活動・自然体験等
- 読書活動の推進

積極的な生徒指導

- 生徒指導体制を確立し、全教職員の共通理解・行動の徹底
- 生徒指導記録簿の活用

家庭、地域と絆を深める

- 開かれた学校づくりを推進し、家庭・地域と共に児童を育成する。
- ☆創立150周年事業の推進

安心・安全

- 安全教育、安全管理を徹底し、安全な行動がとれる児童を育成する。
- ・避難訓練の充実

特別支援教育

- 特別支援教育の視点に立ち、すべての児童を対象に個に応じた指導を行う。



明治7年開校
東児玉小学校
おかげさまで、
地域に支えられ、
創立150周年